

「徳島県消防広域化推進計画」改定の骨子（案）について

1 背景

○消防ニーズの複雑化・多様化・高度化

- ・高齢化による救急需要の増大
- ・地震や豪雨等大規模災害への対応

○消防力の維持が困難

- ・人口減少による財政面の制約
- ・低密度化の一方、必要な消防署所等は変化せず

⇒ 消防の広域化は、消防力の維持強化に有効な手段

〈広域化のメリット〉

- ・住民サービスの向上
- ・人員配置の効率化と充実
- ・消防体制の基盤強化

2 計画改定の方針

○消防本部の規模が大きいほど災害対応能力が強化され、組織管理、財政運営等の観点からも望ましい

⇒ 「県下1消防本部」は理想的な消防本部のあり方

○各市町村の地域の実情を十分に考慮する必要がある

○小規模消防本部の体制強化がこれまで以上に必要

◎市町村の意見や地域の特性等を勘案し、

「県下1消防本部」を掲げつつ、「段階的な広域化」を推進することとし、

将来の方面本部を見据え、

まずは、生活圏を一にする隣接地域（地域ブロック）における

「連携・協力」や「非常備の解消」に取り組む。

3 今後の予定

平成31年1月 第3回徳島県消防広域化推進計画検討委員会

・計画改定（案）の検討

2月 2月議会で計画改定（案）を報告

3月 計画の改定

連携・協力を含む広域化を検討する枠組み（案）

